

神奈川県神奈川区の地域防災拠点について



神奈川県神奈川区マスコットキャラクター
「かめ太朗」

神奈川県神奈川区役所総務課

神奈川県被害想定

最大震度：**7**（元禄型地震）

死者：**383**名

負傷者：**1,892**名

建物被害：**13,111**棟

火災による焼失棟数：**11,802**棟（18区最多）

津波による死者：**171**名（慶長型地震）

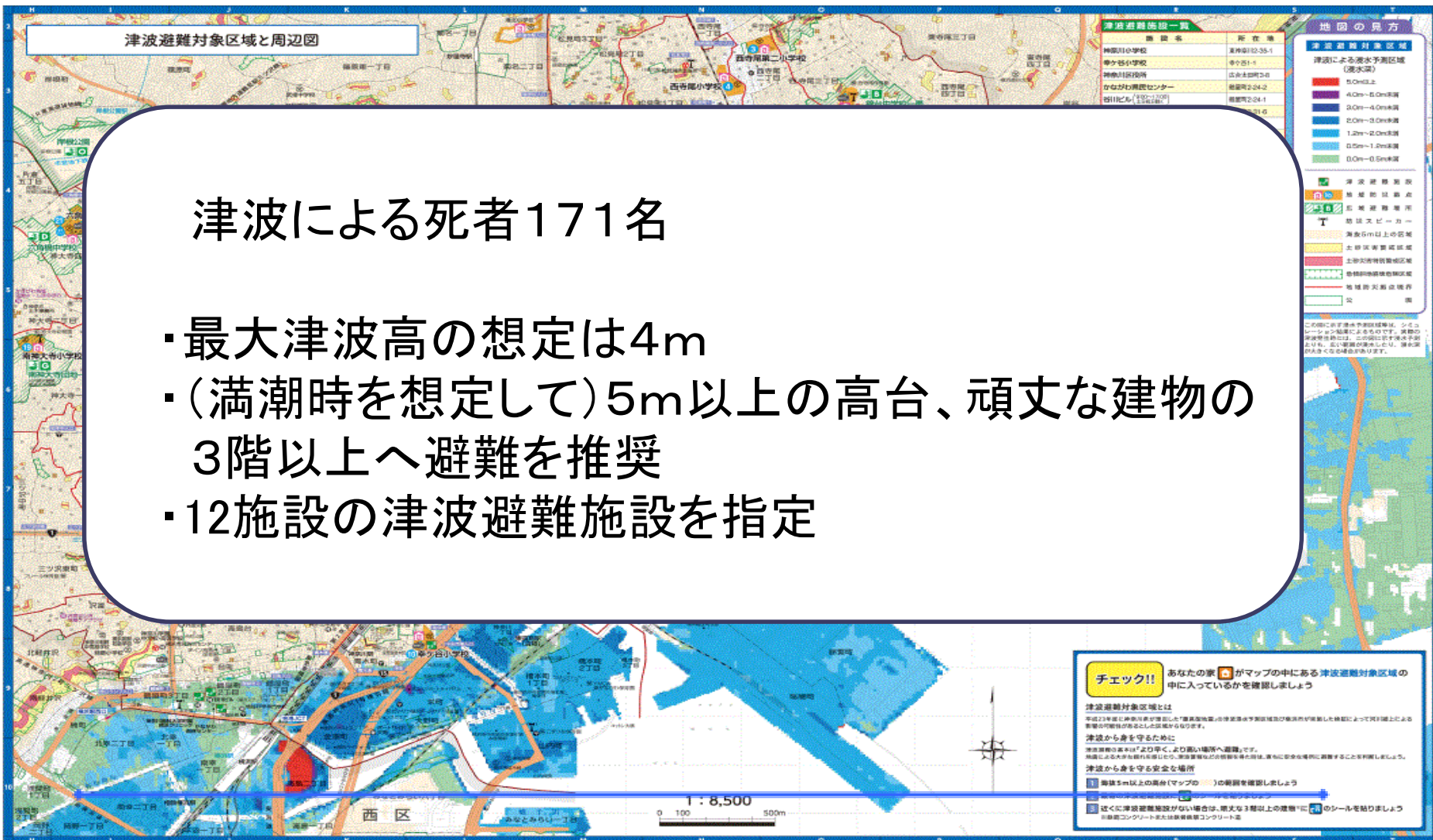
（平成24年 横浜市地震被害想定調査報告書）



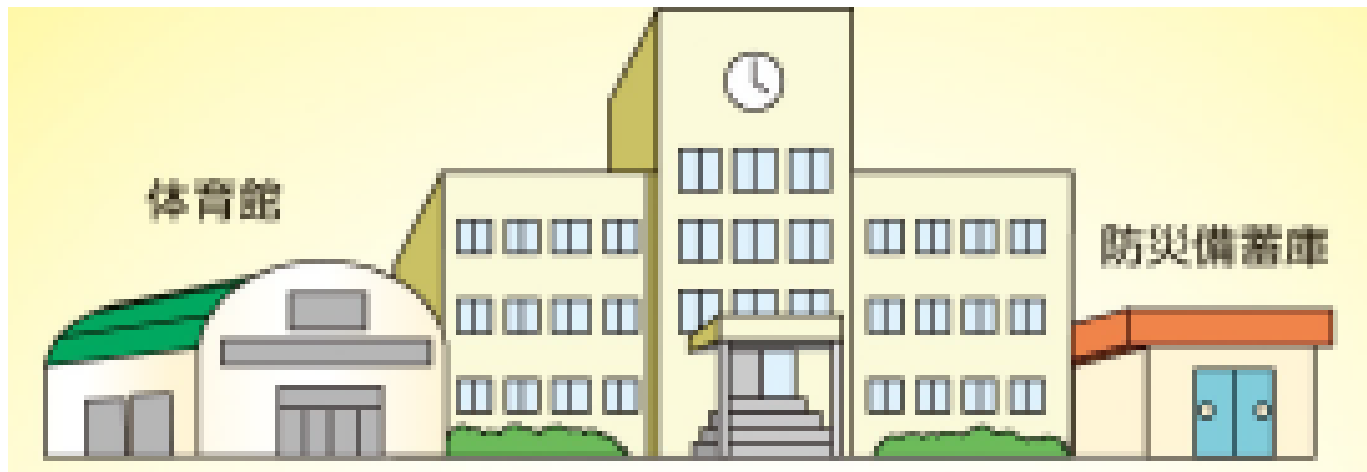
神奈川区の被害想定の特徴

津波による死者171名

- 最大津波高の想定は4m
- (満潮時を想定して)5m以上の高台、頑丈な建物の3階以上へ避難を推奨
- 12施設の津波避難施設を指定



地域防災拠点とは？

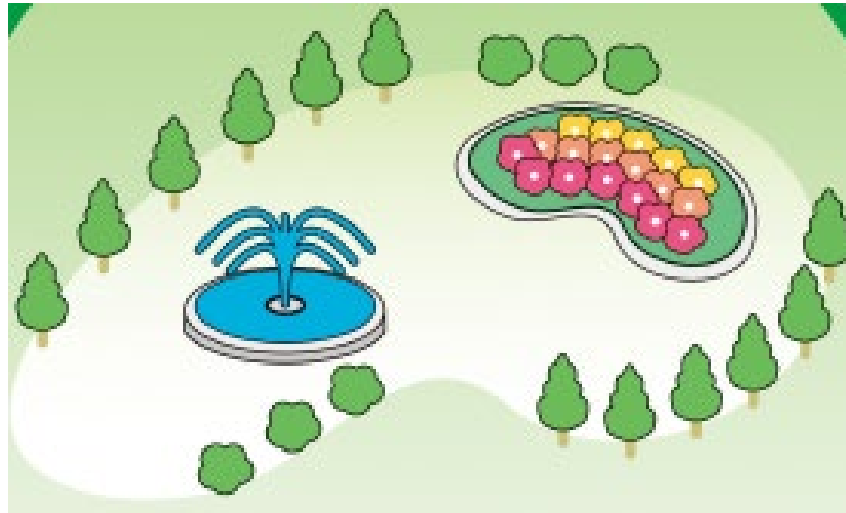


⇒地震の被害により、自宅で生活できなくなった人が一定の期間生活を送る場所



※神奈川区では市立小中学校25校が指定されています。

広域避難場所とは？



⇒ 大火災が発生し延焼拡大した時、
火災の熱や煙から身を守るため
の避難場所

※神奈川区内では15箇所が指定されています。



いつとき避難場所とは？

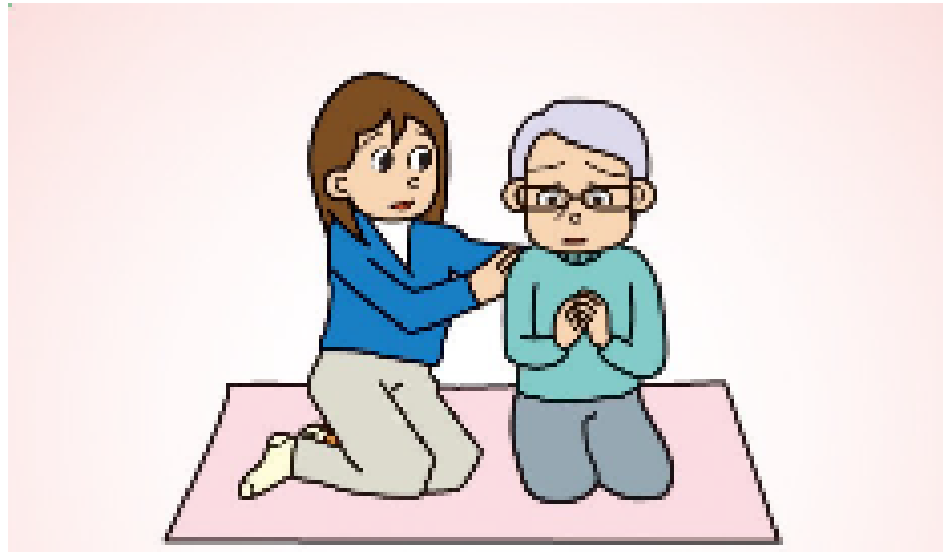


⇒避難の必要性又は周囲の状況や安否確認をするときに避難する場所



※避難の必要がある場合には各町内会などの地域ごとに決めている行動をとりましょう。

福祉避難所とは？



⇒ 高齢者や障害者などのうち、避難生活で特別な配慮が必要である人のための二次的避難場所



地域防災拠点の役割

- 1 家の倒壊等の被害を受けた人が、一定の期間生活を送る場所
- 2 食料・水の備蓄、運ばれてくる救援物資の分配（在宅避難者にも配る）



地域防災拠点の役割

在宅避難者への支援



地域防災拠点の役割

3 防災資機材・生活用品等の備蓄



下水直結式仮設トイレ



生活必需品



発電機

4 家族の安否や避難の情報、被害の状況を把握できる



拠点開設条件とは

- ・横浜市域内において

震度5強

以上の地震が観測されたとき



平常時の主な活動

- 災害時に利用する教室の事前選定や拠点運営方法等の打ち合わせ
- 防災訓練の実施及び参加
- その他地域防災力の向上に必要な事項





地域防災拠点運営委員会とは

- 震災発生時に、安全かつ秩序ある避難生活の維持、地域住民の相互協力による防災活動等の促進を目的とした、地域防災拠点ごとに、地域・学校・行政等からなる運営委員会のこと。

地域防災拠点
運営委員会

地域住民

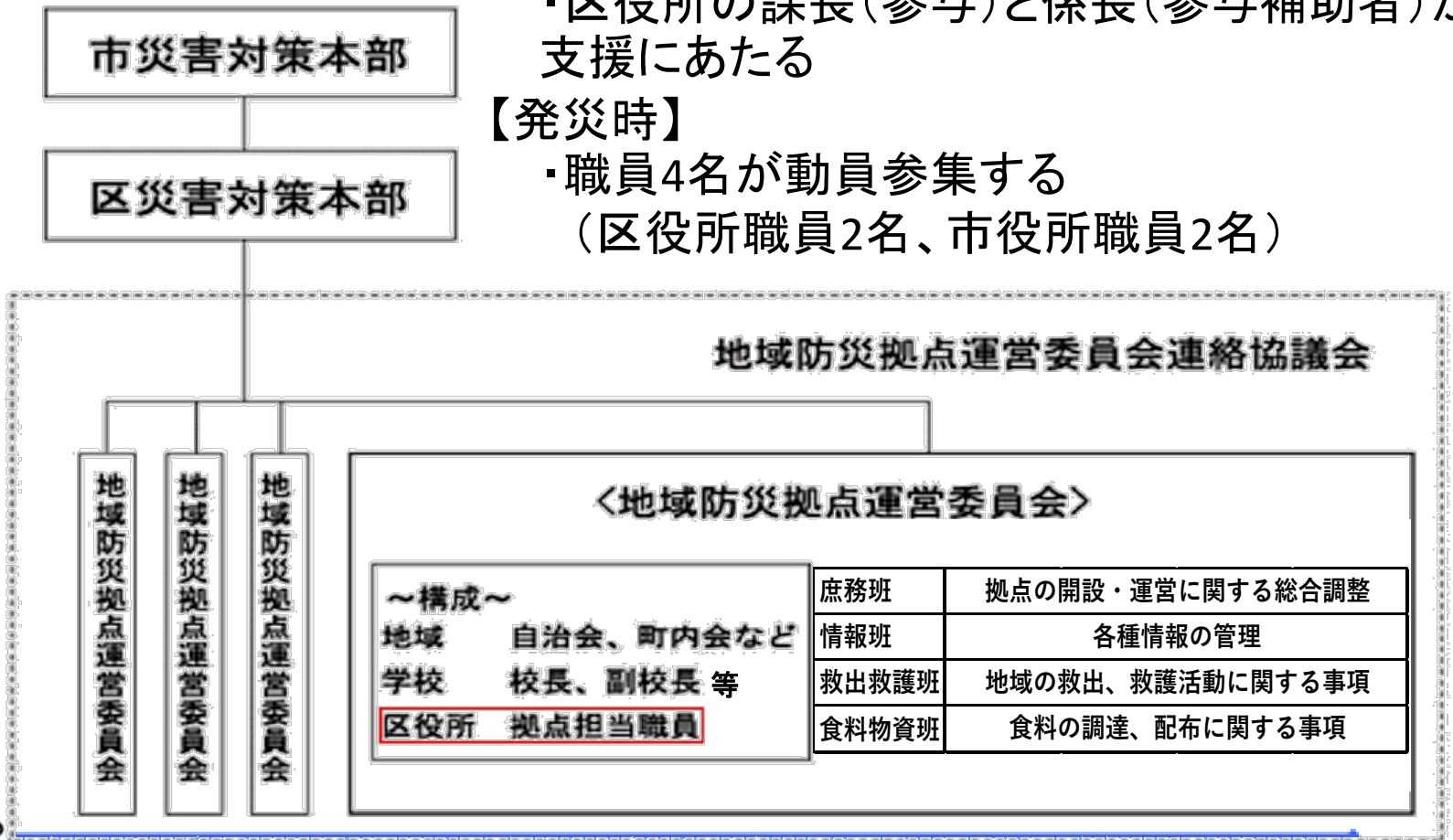
行政

学校



【組織図】

- ・神奈川区内の地域防災拠点とは25か所
- 【平時】
- ・区役所の課長(参与)と係長(参与補助者)が支援にあたる
- 【発災時】
- ・職員4名が動員参集する
(区役所職員2名、市役所職員2名)



班編成

| 班 | 班 長 | 事 務 分 掌 |
|-----|-----|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 庶務班 | 班長 | <ul style="list-style-type: none"> ・拠点開設・運営に関する総合調整 ・区本部との各種連絡、調整に関する事項 ・会議の開催に際する事務局 ・ボランティアの受付、その他対応 ・拠点の秩序やルールに関する事項 ・その他、他の班に属さない事項 ・在宅被災生活者の支援調整に関する事項 |
| | | |
| | | |
| | | |
| 情報班 | 班長 | <ul style="list-style-type: none"> ・各種の情報の管理 ・震災、町内会区域内の被災情報のとりまとめ ・拠点の情報発信拠点機能に関する事項 (掲示板の掲出・掲出情報の管理) ・区割り及びスペースへの割り振り ・避難者カードの管理 ・避難者リストの作成 ・町内会（拠点以外の避難者）との情報受伝達 |
| | | |
| | | |
| | | |



防災備蓄庫について

定期的に倉庫整理を行いましょ

| 区分 | 品 | 標準数量 | 品目 | 標準数量 |
|------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 食料・水 | クラッカー・保存パン スープ おかゆ | 2,000食 220食 460食 | 水缶詰 粉ミルク・ほ乳瓶 ※6 | 2,000缶 20セット |
| 生活用品 | 高齢者用紙おむつ 生理用品 移動式炊飯器（小学校） 毛布 トイレバック LED ランタン 電話（子機・防災無線用） モジュラーコード （防災無線用） 折りたたみ自転車 ※1 ビブス（青／橙） ※4 情報板（ホワイトボード） ※1 特設公衆電話 | 210枚 425個 1台 240枚 5,000セット 80台 1基 1基 1台 2個 各10枚 1台 2台 | 乳幼児用紙おむつ・紙パンツ トイレトーパー ガスかまどセット（中学校） アルミブランケット 簡易トイレ便座 簡易式テント アマチュア無線機 ※1 事務用品セット ※1 組立式仮設トイレ ※2 手回し充電式ラジオ トランシーバ ※3 多言語表示シート 特設公衆電話用コード 土のう袋 ※1 給水用水槽 | 1,350枚 192巻 1セット 240枚 6基 2基 1台 1セット 2基 2台 5基 1セット 2本 10枚 1個 |
| 救護用品 | リヤカー 松葉杖 三角巾 ※1 | 2台 5組 30～60枚 | 救急箱 ※1 グラウンドシート 保温用シート | 1セット 10枚 50枚 |
| 救助用品 | ガソリン式発電機 ガス式発電機 ※5 担架 つるはし スコップ てこ棒 ワイヤーカッター のこぎり ハンドマイク レスキュージャッキ | 小学校 3台 5台 中学校 4台 10本 5本 5本 5本 5本 5本 5本 2個 1台 | ヘルメット 投光機 ポール（応急担架用） 大ハンマー ロープ 大バール 大なた 金属梯子 エンジンカッター 掛矢 車輪付担架 ※1 | 10個 5台 10本 5本 5本 5本 5本 1本 2台 2個 1台 |



備蓄庫の物品について

食料

クラッカー・保存パン

計2,000食

スープ 220食

おかゆ 460食

粉ミルク 20缶

水

水缶 2,000缶

生活用品

ガスかまどセット
毛布、トイレパック
LEDランタン等

救護用品

リヤカー、松葉杖等

救助用品

発電機、投光器、
担架等



備蓄食料について

備蓄庫では最低限の食料しか確保していないため、普段から**各家庭でできれば1週間分(最低3日分)**の備蓄をお願いします。

各家庭で最低限備蓄してほしいもの(1人あたり)

- ・食料品(1日3食×3日=9食)
- ・飲料水(1日3ℓ×3日=9ℓ)
- ・トイレパック(1日5回×3日=15回分)



拠点の設備等について

1 下水直結式仮設トイレ

使用方法

①立ち上り管の蓋をはずし、仮設トイレを設置する
※蓋をおける工具は防災倉庫に保管

②注水用マンホールから下水道管に水を貯める
※プール水・水道水を活用/約800ℓ
注水用マンホールから管の半分程度貯まった事を確認

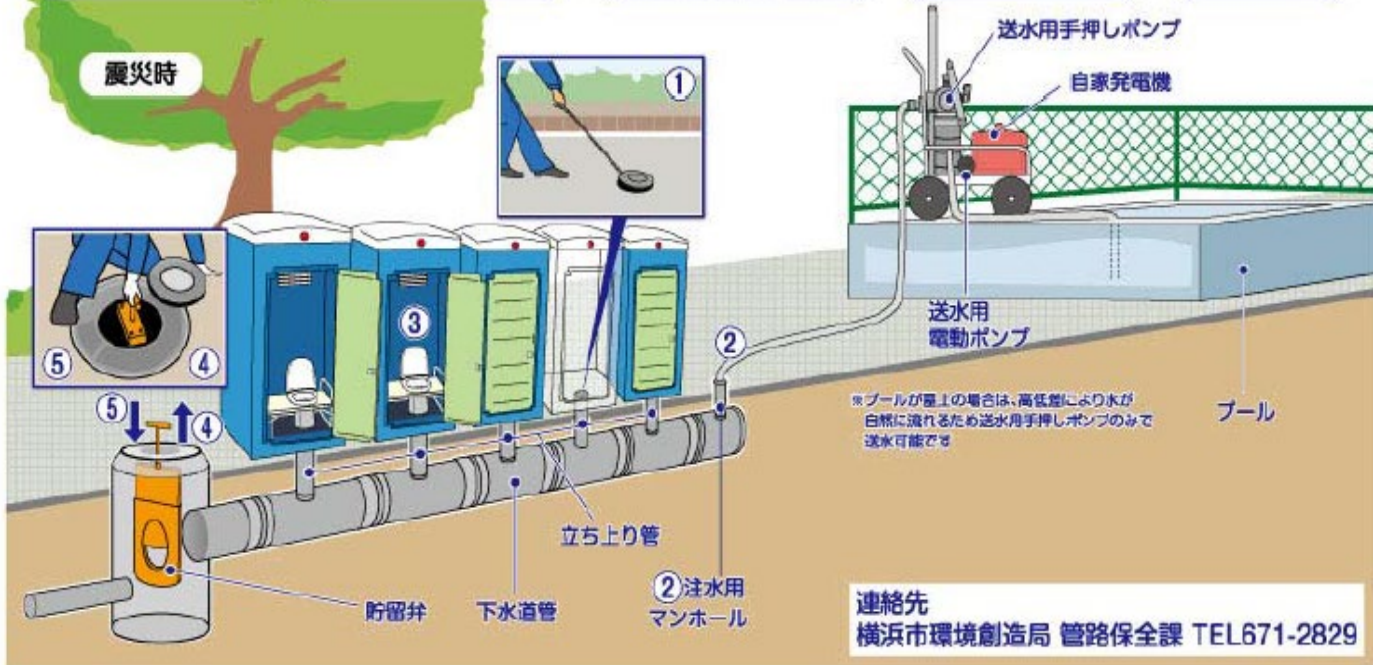
③トイレが使用可能になる
必ず、下水道管に水を貯めてから使用
※貯めた水が、トイレからの汚物やペーパーを溶解し、排水しやすくなります

④約500人使用したら貯留弁をあげ、排水する
※1日1〜2回程度/一気に排水

⑤下水道管が空になったら貯留弁を閉める

②からの工程を繰り返す

震災時



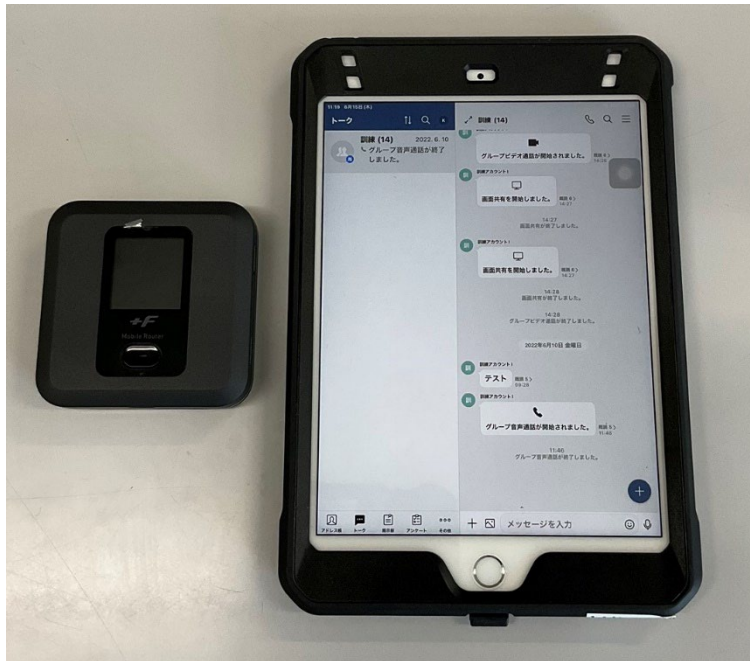
※プールが地上の場合、高低差により水が自然に流れるため送水用手押しポンプのみで送水可能です

連絡先
横浜市環境創造局 管路保全課 TEL671-2829



2 連絡手段

ラインワークス



デジタル移動無線



区役所⇔拠点間の連絡

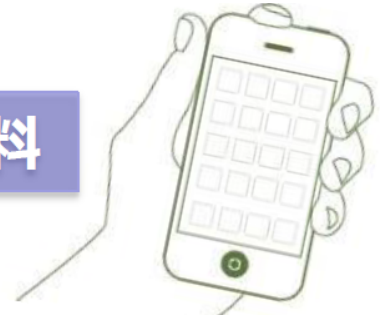
災害時の情報収集

横浜市

防災情報Eメール

登録無料

携帯電話に防災情報等を電子メールで配信します



- ① 横浜市からの緊急なお知らせ
- ② 震度情報、津波警報・注意報
- ③ 気象特別警報・警報・注意報
- ④ 河川水位、雨量、豪雨お知らせ
- ⑤ 土砂災害警戒情報
- ⑥ 天気予報、熱中症予防情報
- ⑦ 光化学スモッグ、PM2.5情報等



entry-yokohama@bousai-mail.jp



訓練や研修の実施

- ・訓練内容等のご相談がある場合は、各拠点の参与・参与補助者までご相談ください。
- ・研修については、本日ご覧いただいた動画以外にも、市ホームページに掲載しておりますので、ご活用ください。

参考：横浜市ホームページ「動画で防災を学ぼう！！」

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/bousai-kyukyu-bohan/bousai-saigai/keihatsu/0720.html>



地域防災拠点は運営委員会の方々と避難者の方々が一体となって開設・運営していくものです。

避難者はお客様ではありません！



ご清聴ありがとうございました。

